

靴の医学

Volume 35

No. 1

2021

編集

日本靴医学会

第35回 日本靴医学会学術集会 抄録集号

The 35th Annual Meeting of the Japanese Society for
Medical Study of Footwear
Program and Abstracts

開催テーマ：変わらない靴 変わる靴

開催形式：完全 Web 開催

ライブ配信：2021年(令和3年)9月3日(金)・4日(土)

オンデマンド配信：2021年(令和3年)9月13日(月)～9月30日(木)

会 長：平野 貴章

聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座 准教授

事務局：聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1

TEL：044-977-8111(内線3435) FAX：044-977-9683

目 次

第35回日本靴医学会学術集会の開催にあたり	2
参加者へのご案内	4
座長・演者へのご案内	6
取得可能な単位のご案内	9
日程表	10
学会プログラム	12
抄 録	
理事長講演	23
特別講演	27
企業セミナー	31
シンポジウム	35
一般演題	53
日本靴医学会機関誌「靴の医学」投稿規定	93
日本靴医学会学術集会歴代会長	96
賛助会員	97
日本靴医学会役員一覧	98
第35回日本靴医学会学術集会 協賛一覧	99

第35回日本靴医学会学術集会の開催にあたり

第35回日本靴医学会学術集会

会長 平野 貴章

聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座 准教授



この度、第35回日本靴医学会学術集会を、2021年9月3日(金)・4日(土)の2日間、聖マリアンナ医科大学整形外科学講座で開催させていただくことになりました。誠に光栄に思いますとともに、貴重な機会をいただきましたこと、そしてご協力をいただきました日本靴医学会会員の皆様、病院・靴に関連する企業の皆様、聖マリアンナ医科大学講座同門会および大学関連の皆様へ深く感謝を申し上げます。

第35回日本靴医学会学術集会のテーマは、「一変わらない靴 変わる靴」とさせていただきます。近年、社会環境は急速に変化をしています。また、コロナウイルスの影響は、私たちの生活を大きく変えることとなりました。移動・外出の制限は、私たちの活動を大きく変化させています。この社会情勢のなか、私たちは、足の痛みを患っている方々に対して治療を継続し、日々、前進しております。このような状況の中ですが、少しでも不安要素を除くために、さらに私たちにできることはないでしょうか。

日本靴医学会は、1987年に設立され30年以上の歴史がある、靴と足に関する医学的知識と技術の進歩を目的とした学会です。これまで、本学会が培ってきた知識と経験を、多くの人で共有することにより、現在のような困難な状況においても、安心して歩行できる環境を作り、前に進んで行くことができる治療を継続できるものと考えます。変化する時代や状況に応じた状況や治療を提供できることを目標としています。

いつまでも変化しない本質を忘れず、さらに新しい変化を取り入れていくことを、今回の学術集会で議論できればと考え、このようなテーマを掲げました。

このたびの学術集会の準備にあたり、私たちはコロナ禍でも感染対策を施し、できる限り神奈川県川崎市コンベンションホールでの開催を目指し準備をすすめてまいりました。しかしながら、全国的なコロナウイルス感染状況や医療機関への負担、そして日本靴医学会の会員の皆様の健康と安全を鑑み、本学術集会を完全 Web 開催に変更させていただきましたこととなりました。現地での開催を楽しみにされていた会員の皆様には大変申し訳なく、お詫び申し上げます。現地開催の学術集会を目標としてきた私どもも大変残念でございます。この状況が一日も早く解消され、再び多くの会員の皆様が笑顔で集まることができ、討論できる学術集会を心から願うばかりです。

さて、今回の学術集会では、理事長講演として宇佐見則夫先生から、これまでの日本靴

医学会そして今後の日本靴医学会の展望に関してご講演いただきます。特別講演1では井口傑先生(井口医院)に“変わらない靴 変わる靴”との演題をご講演いただきます。特別講演2では、森澤健一郎先生(聖マリアンナ医科大学 救急医学)に、“新型コロナウイルスと闘った1年間”の演題でご講演をいただきます。共催セミナーでは、ジンマー・バイオメット合同会社のご協力をいただき、秋山唯先生(聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座)に、“SAFE-Qの靴関連項目に着目した足部・足関節の治療”との演題で、最新の足の治療に関する内容と靴に関連する講演をお願いしました。

シンポジウムは、①靴の教育、②靴選び、③女性靴、④スポーツ靴、⑤フットケア、の題材で様々な角度からこれまでの靴に関する変わらず今後に伝えたいことそして、時代の変遷とともにこれまでの知識や経験を踏襲し変わるべきものを変えていかないといけないものを考えていきたいと思います。

一般演題は、皆様のご協力を賜りコロナ禍の状況ではありますが、60演題をいただくことができました。本当にありがとうございます。靴関連の演題はもちろんのこと、足の疾患に関する演題もいただき、足部疾患、治療から靴の機能や役割を再度考えていくことができる学術集会を目指していきたいと考えております。

Webでの開催ではございますが、臨場感のある学術集会を目指しZoomでの配信を用いましたオンラインでの討論、そして多くの会員の皆様に視聴いただけるよう利便性を備えたオンデマンド配信での両方を準備いたしました。皆様のご協力をいただき、充実した討論のできるオンライン学術集会にしたいと考えております。何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

多くの方々に支えられ、本学術集会を開催できますことに深く感謝申し上げます。

令和3年 8月吉日

参加者へのご案内

●学術集会開催形式

本学術集会は、完全 Web 開催となります。会期中のライブ配信と、ライブ配信を本学術集会事務局にて録画した動画をオンデマンド配信いたします。

学会会期(ライブ配信)：9月3日(金)、9月4日(土)

オンデマンド配信：9月13日(月)から9月30日(木)

●参加登録

第35回日本靴医学会学術集会ホームページ(<https://kutsu35.secand.net/>)よりお進みいただき、参加登録をお願いします。

参加登録いただきました方に、ID・パスワードの情報をメールにてお送りいたします。

●参加費

一般(医師・医師以外、会員・非会員とも)

事前参加登録：12,000円	当日参加登録：13,000円
----------------	----------------

学生(学部学生・大学院生、医師を除く)

事前参加登録：5,000円	当日参加登録：6,000円
---------------	---------------

※事前参加登録期間：2021年8月10日(火)～8月27日(金)17:00

当日参加登録期間：2021年8月27日(金)17:00～9月30日(木)

※お支払いはクレジットカードと銀行振り込みとなります。

銀行振り込みの場合は、8月30日(月)までにお問い合わせいたします。

期日までに振り込みが確認できない場合には、参加いただけないことがあります。

※参加証・領収証はオンライン上で発行いたします。

●参加方法

1. 第35回日本靴医学会学術集会ホームページ トップページ内、「Web 開催会場はこちら」のボタンよりお進みください。
2. 発行された ID・パスワードを入力いただきますと Web 開催会場にお入りいただけます。
3. ID、パスワードの譲渡・共有は禁止致します。これに関わるトラブルが発生した場合、本学術集会では責任を負いかねます。
4. 本学術集会では、口演に対する質問事項はライブ配信のみで行います。
5. 配信画面の録画、静止画記録、録音を一切禁止致します。

●入会手続き

学術集会の会期中、学会事務局の受付窓口は設けておりませんので、ご了承ください。お問い合わせ等ございます場合は、下記宛てFAXまたはE-mailにてご連絡ください。

日本靴医学会事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル

株式会社 毎日学術フォーラム内

FAX：03-6267-4555

E-mail：maf-kutsuigaku@mynavi.jp

●その他

詳細につきましては第35回日本靴医学会学術集会ホームページにて随時ご案内いたしますので、そちらをご確認ください。

座長・演者へのご案内

1. 座長・演者の先生方へ

- 本学術集会は Zoom を使用してライブ配信と、ライブ配信を本学術集会事務局にて録画した動画をオンデマンド配信いたします。
- 先生方にはご自宅や勤務先からご参加いただきますが、通信環境が整った場所からご参加ください。
なお、以下の環境を推奨します。
 - ・可能な限りメモリ大 (CPU i5 以上、メモリ 8ギガ以上) の PC
 - ・有線 LAN 回線によるインターネット接続
 - ・ヘッドセットの使用
 - ・極力静かで、顔が見える明るさの確保できる場所
- 事前に Zoom のダウンロード、マイクとスピーカーのテストをお願いします。
- ライブ配信はセッション開始 20 分前に接続確認・動作確認いたします。
接続後マイクとカメラをオンにしてください。
その際、ご発表・討論・進行等につきましてオペレーターよりご案内させていただきます。
- 各セッションの URL は、ライブ配信の 1 週間前を目途にメールにてご案内いたします。

2. 座長の先生方へ

- 接続確認後、音声・カメラ確認の終了後、マイクを一旦オフ (ミュート) にしてください。その後は、ご発言時のみマイクを入力し、それ以外はミュート (マイクオフ) の状態としてください。
- カウントダウンタイマー表示がございませんのでお手持ちの時計で進行管理をお願いいたします。
- 質問は、Q & A にてチャット形式にて行います。

3. 演者の先生方へ

[発表時間]

シンポジウム：発表 7 分 個別質疑応答 2 分 総合討論

* 発表後に総合討論が行われますので、セッション終了まで退出なさらないようお願いいたします。

一般演題：発表 5 分 質疑応答 3 分

[セッション開始について]

- 接続確認後、マイクとカメラを一旦オフ(ミュート)にしてください。
その後は、ご発言時のみマイクとカメラを入力し、それ以外はミュート(マイクとカメラ切)の状態としてください。

[プレゼンテーション]

- PC プレゼンテーション(1面)のみとします。
- 拡張画面での使用はご遠慮下さい。
- Zoom、口演データで使用するアプリケーション以外はOFFにして頂き、演者自身の操作で口演データを画面共有にしてお進めください。
- 発表時間の厳守をお願いいたします。
- オンデマンド配信用に録画したデータは、会期終了後に学術集会事務局が責任をもって消去させていただきます。

[口頭データの作成方法]

- Microsoft Power Point、Keynote 等でご作成ください。
- スライドサイズは問いませんが、16:9を推奨いたします。
- なるべく大きな文字で見やすいフォントをご使用ください。
- アニメーション、動画・音声なども使用可能ですが、多用しますと動作に不具合が出る場合がございます。
- 動画・音声がある場合は接続確認時にオペレーターまでお申し出ください。
- スライド1枚目は、演題名・所属・演者名を記載してください。
- スライド2枚目に利益相反の有無にかかわらず、利益相反開示スライドをお入れください。該当するCOI有無、および有の場合にはその状態を開示してください。

オンラインによる学会での発表に際し、本学会では各自のコンピューターの操作・インターネット接続・映像・音声等のトラブルの対応はできません。ご自身での解決をお願いいたします。

4. 注意事項

本学会集会では、オンライン会議システム Zoom を使用します。ID、パスワードによって厳重にセキュリティーチェックを実施しますが、公共システムを利用するために注意が必要です。以下についてご留意の程よろしくお願い致します。

- いかなる方法によっても、著作権のある資料、商標、肖像権またはその他の財産権を、これらの財産権の所有者から事前に書面にて同意を得ることなく、掲示、変更、流通または再生しないようにしてください。
- 引用については引用元を明記してください。
- 個人を特定できる、氏名、年齢、ID、手術日などの個人情報の保護に注意してください。
- 一般の方々が見た場合に問題視すると思われる画像、動画については通常の学会発表以上に注意を払ってください。
- 配信画面の録画、静止画記録、録音を一切禁止致します。
- 本学会集会では、口演に対する質問事項はライブ配信のみで行います。
- ID、パスワードの譲渡・共有は禁止致します。これに関わるトラブルが発生した場合、本学会では責任を負いかねます。

取得可能な単位のご案内

【日本整形外科学会教育研修単位について】

- 学術集会ホームページよりお進みいただき、ご希望の講演をご選択ください。
受講料(1講演につき 1,000円)のお支払いを忘れずをお願いいたします。

【取得可能単位と講演】

特別講演1

演 題：変わらない靴 変わる靴

演 者：井口 傑(井口医院)

認定単位：日本整形外科学会教育研修単位(N-12・13, Re)

特別講演2

演 題：新型コロナウイルスと闘った1年間

演 者：森澤 健一郎(聖マリアンナ医科大学 救急医学)

認定単位：日本整形外科学会教育研修単位(N-14-2),

専門医共通講習 感染対策(必修)

共催セミナー(共催企業：ジンマー・バイオメット合同会社)

演 題：SAFE-Qの靴関連項目に着目した足部・足関節の治療

演 者：秋山 唯(聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座)

認定単位：日本整形外科学会教育研修単位(N-12・13, Re)

【単位取得方法】

以下のフローで単位取得ができます。

ライブ配信とオンデマンド配信では方法が異なりますので、お気をつけください。

※ライブ配信の場合(9月3日、4日)

1. 参加登録を行います。
2. 学術集会のサイトにログインをします。
3. 教育研修単位受講の申し込みを行います。(1単位 1,000円)
4. 申し込みした講演のライブ配信をはじめから最後まで視聴します。
参加確認は、Zoom を使用して行います。
遅くとも開始後10分までに視聴してください。
Zoomのお名前表記を「漢字フルネーム」に変更していただき、カメラをオンにし、マイクをミュートにして参加をしてください。
参加確認ができない場合、単位取得が認められない可能性があります。

*特別講演2に関しては、視聴後、専用 URL より設問にすすみ解答していただきます。

※オンデマンド配信の場合(9月13日から9月30日まで)

1. 参加登録を行います。
2. 学術集会のサイトにログインをします。
3. 教育研修単位受講の申し込みを行います。(1単位 1,000円)
4. 申し込みした講演をはじめから最後まで視聴します。(早送り不可)
5. 申し込みした講演の設問に解答します。

日 程 表

1日目 9月3日(金)

	第1会場	第2会場
8:30	8:30～8:40 開 会 式 8:40～9:00 理事長講演 座長：平野 貴章 演者：宇佐見 則夫	
9:00	9:10～10:40 シンポジウム 1 変わらない靴教育 変わる靴教育 SY1-1～SY1-6 座長：倉 秀治 生駒 和也	9:00～10:00 一般演題 1 小児・婦人靴 P01-1～P01-7 座長：塩之谷 香
10:00		10:05～10:55 一般演題 2 足の治療 P02-1～P02-6 座長：西井 幸信
11:00	10:50～12:20 シンポジウム 2 変わらない靴選び 変わる靴選び SY2-1～SY2-5 座長：落合 達宏 吉村 一朗	11:00～11:40 一般演題 3 外反母趾・強剛母趾 1 P03-1～P03-5 座長：嶋 洋明
12:00		11:45～12:25 一般演題 4 装具治療 1 P04-1～P04-5 座長：畔柳 裕二
13:00	12:30～13:30 共催セミナー SAFE-Qの靴関連項目に着目した 足部・足関節の治療 座長：佐本 憲宏 演者：秋山 唯 共催：ジンマー・バイオメット合同会社	
14:00		13:35～14:05 総 会
15:00	14:10～15:10 特別講演 1 変わらない靴 変わる靴 座長：仁木 久照 演者：井口 傑	
16:00	15:20～16:00 一般演題 5 外反母趾・強剛母趾 2 P05-1～P05-5 座長：神崎 至幸	15:20～16:50 シンポジウム 3 変わらない女性靴 変わる女性靴 SY3-1～SY3-6 座長：池澤 裕子 軽辺 朋子
17:00	16:10～17:00 一般演題 6 基礎研究 1 P06-1～P06-6 座長：牧 昌弘	

日 程 表

2日目 9月4日(土)

	第1会場	第2会場
8:30	8:30~10:00 シンポジウム 4 変わらないスポーツ靴 変わるスポーツ靴 SY4-1~SY4-5 座長: 安田 稔人 早稲田 明生	
9:00		9:00~9:50 一般演題 7 装具治療2 P07-1~P07-6 座長: 福土 純一
10:00	10:10~10:50 一般演題 9 スポーツ靴 P09-1~P09-5 座長: 小久保 哲郎	10:00~10:40 一般演題 8 基礎研究 2 P08-1~P08-5 座長: 谷口 晃
11:00	11:00~11:40 一般演題 10 装具治療 3 P10-1~P10-5 座長: 黒川 紘章	10:50~12:20 シンポジウム 5 変わらないフットケア 変わるフットケア SY5-1~SY5-5 座長: 庄野 和 岡田 洋和
12:00	11:50~12:30 一般演題 11 外反母趾・強剛母趾 3 P11-1~P11-5 座長: 常德 剛	
13:00		12:30~13:30 特別講演 2 新型コロナウイルスと闘った一年間 座長: 平野 貴章 演者: 森澤 健一郎
		13:30~13:40 閉 会 式
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		

プログラム

第1日目 9月3日(金) 第1会場

開会式

8:30～8:40

理事長講演

8:40～9:00

座長：平野 貴章(聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座)

[靴医学会の今後の展望(なすべきこと)]

うさみ整形外科 宇佐見則夫

シンポジウム1 [変わらない靴教育 変わる靴教育]

9:10～10:40

座長：倉 秀治(羊ヶ丘病院 整形外科)

生駒 和也(京都府立医科大学 整形外科)

SY1-1 シューフィッター養成講座における医師からの講義について

上尾中央総合病院 整形外科 印南 健 他

SY1-2 当院における外反母趾患者の術前後の靴に関する実態調査と靴の指導

羊ヶ丘病院 リハビリテーション科 須貝奈美子 他

SY1-3 足と靴の技術講習会受講生の変遷とこれから

バン産商株式会社フスウントシューインスティテュート 遠藤 拓 他

SY1-4 義肢装具士への靴教育 変わらないもの変わるもの

新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 義肢装具自立支援学科 阿部 薫

SY1-5 理学療法士への靴教育 変わらないもの 変わるもの

広島大学大学院医系科学研究科 浦辺 幸夫

SY1-6 日本中へ広げよう子どもへの靴教育
～国内最初の靴教育は子どもから始まった～

早稲田大学 人間科学学術院 吉村真由美

シンポジウム2 [変わらない靴選び 変わる靴選び]

10:50～12:20

座長：落合 達宏(宮城こども病院 整形外科)
吉村 一郎(福岡大学 整形外科)

- SY2-1** 従来の靴製作法のリミテーションと3D プリンターの活用
ラピセラ株式会社 奥野 雅大
- SY2-2** 変わる日本人の足と変わらない靴サイズ
一般社団法人 足と靴と健康協議会 木村 克敏
- SY2-3** 足部疾患と靴選び
大和橿原病院 整形外科 中本 佑輔 他
- SY2-4** リハビリテーション診療に必要な靴
京都府立医科大学大学院 リハビリテーション医学 大橋 鈴世 他
- SY2-5** 靴の選び方と履き方の私見
高倉整形外科クリニック 高倉 義幸

共催セミナー 共催:ジンマー・バイオメット合同会社

12:30～13:30

座長：佐本 憲宏(国保中央病院)

[SAFE-Q の靴関連項目に着目した足部・足関節の治療]

聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座 秋山 唯

特別講演1

14:10～15:10

座長：仁木 久照(聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座)

[変わらない靴、変わる靴]

井口医院 井口 傑

一般演題5 [外反母趾・強剛母趾 2]

15:20～16:00

座長：神崎 至幸(神戸大学 整形外科)

- P05-1** 外反母趾における足底軟部組織厚の検討 —X線学的評価法を用いて—
京都府立医大大学院 運動器機能再生外科学(整形外科) 城戸 優充 他
- P05-2** 外反母趾患者の重症度別の靴に関する実態調査
医療法人社団悠人会 羊ヶ丘病院 七尾 史乃
- P05-3** 後脛骨筋腱機能不全に外反母趾を伴う患者の足部形態とSAFE-Q靴関連スコア
立川病院 整形外科 小久保哲郎 他
- P05-4** 外反母趾に対するchevron法の術後にSAFE-Qを用いた靴関連評価の検討
福岡歯科大学 総合医学講座 整形外科分野 加島 伸浩 他
- P05-5** クツのためには中足趾節(MTP)関節と足根中足(TMT)関節の
どちらを温存するべきか
奈良県立医科大学 整形外科 黒川 紘章 他

一般演題6 [基礎研究 1]

16:10～17:00

座長：牧 昌弘(京都府立医科大学 整形外科)

- P06-1** インソール型足底圧センサーによる慢性足関節外側靭帯不安定症(CLAI)と
健康足の比較
神戸大学大学院 整形外科 山本 哲也 他
- P06-2** ジュニア世代の足部形態の特徴 ～健康成人との比較～
広島大学大学院医系科学研究科 有馬 知志 他
- P06-3** 歩行動作時の腕振り方向と足角の関係
広島大学大学院医系科学研究科 黒田 彩世
- P06-4** 靴痛を防ぐ歩行法「足踏みウォークメソッド」の考案とその効果の検証
靴痛で苦しむ人々に希望の火を灯す試み
川越の小さな靴屋 ナチュリーラ 千崎 英隆
- P06-5** フットプリントを用いた異なる扁平足評価方法の比較
～各方法の効果的な活用方法の検討～
新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科 岡部 有純 他
- P06-6** 立位時および座位時における足型寸法の関係性の検討
～若年女性と高齢女性の回帰分析による比較～
新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科 叶野 愛羅 他

第1日目 9月3日(金) 第2会場

一般演題1 [小児・婦人靴]

9:00～10:00

座長：塩之谷 香(塩之谷整形外科)

- P01-1** 乳幼児期の靴の着脱教育法の体系化
—新機構の留め具を用いた年齢別手技の学習効果—
早稲田大学 人間科学学術院 吉村真由美
- P01-2** ドイツ子供靴規格協会 WMS と小児足を囲む保険制度、
そしてそこから見える日本の小児足靴課題
株式会社フィートバック Behle 操
- P01-3** 三次元足型計測による複数幅学校用シューズの開発
JES 日本教育シューズ協議会 早川 家正 他
- P01-4** 複数幅学校用シューズの足計測とフィッティング並びに
児童試し履きの足感覚によるサイズ決定の差異
JES 日本教育シューズ協議会 早川 侍揮 他
- P01-5** コンテスト出場女性はいかにしてハイヒールを履きこなすのか
株式会社早稲田エルダリーヘルス事業団 伊藤 太祐
- P01-6** 屋内で使用する履物がもたらす歩行への影響の調査
株式会社アルカ 濱田 薫
- P01-7** 3次元足型計測器を用いたヒール高別の足部動態の計測
～靴のボールラインの位置変化を靴型に反映する回帰式を得るために～
新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 蓮野 敢 他

一般演題2 [足の治療]

10:05～10:55

座長：西井 幸信(近森病院 整形外科)

- P02-1** 『切断』回避目的に紹介された慢性期足関節周囲外傷・疾患における
治療後のフットケアの重要性
秋田大学 医学部 整形外科 野坂 光司 他
- P02-2** 陳旧性足関節外側靭帯損傷における手術前後での靴関連スコアの検討
佐賀大学 医学部 整形外科 坂井 達弥 他
- P02-3** 足底腱膜ストレッチングが shear wave elasticity に及ぼす影響
福岡大学病院 整形外科教室 杉野 裕記 他

- P02-4** 成人踵骨部痛の病態と対策
医療法人財団順和会 山王病院 整形外科 青木 孝文 他
- P02-5** 外傷性広範囲前足部壊死に対して軟部組織再建を要した1例
神戸市立医療センター中央市民病院 塚本 義博 他
- P02-6** 第3中足骨頭骨軟骨損傷の一例
中通総合病院 湯浅 悠介 他

一般演題3 [外反母趾・強剛母趾 1]

11:00～11:40

座長：嶋 洋明(大阪医科薬科大学 整形外科)

- P03-1** 下駄の持つ外反母趾抑止効果の考察
江戸時代のあなたの先祖が、外反母趾じゃなかった3つの理由
川越の小さな靴屋 ナチュリーラ 千崎 英隆
- P03-2** 足ゆび(趾)に痛みや変形が起こるメカニズムの考察
どのように趾は痛み変形するのか、その原因を明らかにする
川越の小さな靴屋 ナチュリーラ 千崎 英隆
- P03-3** 外反母趾術後患者と骨粗鬆症との関連要因
悠仁会 羊ヶ丘病院 和田 悠矢 他
- P03-4** 外反母趾に対する水平骨切り術による靴の満足度の改善について
奈良県立医科大学 整形外科教室 田中 奈月 他
- P03-5** 外反母趾変形進行に伴う扁平足進行の評価
荻窪病院 整形外科 関 広幸 他

一般演題4 [装具治療 1]

11:45～12:25

座長：畔柳 裕二(永寿総合病院 整形外科)

- P04-1** 軽度変形性股関節症の脚長差における足部疼痛に対するパッド調整
—短脚補高と長脚内側ウェッジによる改善例—
新潟医療福祉大学大学院 東海林 藍 他
- P04-2** 神経線維腫症1型の踵部神経線維腫に対してインソール治療が有効であった2例
宮城県立こども病院 水野 稚香 他
- P04-3** 足部の可動性および歩行動画に基づいた足底挿板の作成と効果
近森病院 整形外科 西井 幸信 他

P04-4 内反型変形性膝関節症に対する内側インソールの有用性
近森病院 整形外科 西井 幸信 他

P04-5 %mechanical axis は内側半月板変性断裂に対する外側楔状足底挿板の
効果予測指標として有用である
聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座 植原 健二 他

総 会

13:35～14:05

シンポジウム3 [変わらない女性靴 変わる女性靴] 15:20～16:50

座長：池澤 裕子(永寿総合病院 整形外科)
軽辺 朋子(聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座)

SY3-1 治療に関する女性靴
聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座 軽辺 朋子 他

SY3-2 変えたい制靴、変わらない制靴
塩之谷整形外科 塩之谷 香

SY3-3 ハイヒール歩行の解析と、足部疾患を有する足と靴
獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 増田 陽子 他

SY3-4 女子サッカー選手のシューズと足部障害の関連
山形大学医学部 整形外科学講座 鈴木 朱美 他

SY3-5 フィギュアスケートにおける靴の特徴と下肢の医学的課題について
東京慈恵会医科大学 スポーツ・ウェルネスクリニック 油井 直子 他

SY3-6 shoes 3.0から4.0の時代へ向けて
株式会社星野 星野 俊二

第2日目 9月4日(土) 第1会場

シンポジウム4 [変わらないスポーツ靴 変わるスポーツ靴]

8:30~10:00

座長：安田 稔人(大阪医科薬科大学)
早稲田明生(わせだ整形外科)

- SY4-1** サッカーシューズに求められるもの
札幌医科大学医学部 整形外科学講座 寺本 篤史 他
- SY4-2** ランニングシューズの変遷
立川病院 整形外科 小久保哲郎 他
- SY4-3** 大学ラグビー選手を対象とした
スパイクおよびインソールに関するアンケートからわかったこと
帝京大学 スポーツ医科学センター 笹原 潤 他
- SY4-4** 女性アスリートのための靴 —ハイヒールやトウシューズを中心に—
Footwear on dancers
国際医療福祉大学医学部 整形外科学 竹島憲一郎 他
- SY4-5** 変わるスポーツシューズ、変わらないスポーツシューズ ハンドボール編
三重大学医学部 スポーツ整形外科 西村 明展 他

一般演題9 [スポーツ靴]

10:10~10:50

座長：小久保哲郎(立川病院 整形外科)

- P09-1** サッカースパイクにおけるスタッド形状の違いが第5中足骨の足底圧に
与える影響 円形・ブレード・ひし形スタッドでの比較
広島市立安佐市民病院 整形外科 大田 悠貴
- P09-2** 長距離陸上競技における厚底シューズの適合を考える
医療法人社団徳清会 三枝整形外科医院 藤田 将
- P09-3** スパイクを変えたことによりアキレス腱周囲炎を発症したと考えられる
ラグビー選手の1例
帝京大学 スポーツ医科学センター 笹原 潤 他
- P09-4** 成長期サッカー選手における足長とインソール長との差と圧痛の検討
医療法人 尽心会 百武整形外科・スポーツクリニック
リハビリテーション部 吉原 正英 他
- P09-5** 第5中足骨疲労骨折の既往があるラグビー選手の切り返し動作に関する一考察
帝京大学 スポーツ医科学センター 大川 靖晃 他

一般演題10 [装具治療 3]

11:00～11:40

座長：黒川 絃章(奈良県立医科大学 整形外科)

- P10-1 踵骨骨折に対するグラフィン装具の使用経験
大植会 葛城病院 常德 剛
- P10-2 インソールの硬さ、柔らかさによる歩行への影響について
株式会社アルカ 天笠亜衣子 他
- P10-3 体外衝撃波治療中の足底腱膜炎に足底挿板の併用は必要か
京都府立医大大学院医学研究科 運動器機能再生外科学(整形外科) 牧 昌弘 他
- P10-4 足関節固定術後の足底挿板装着例の検討
公益財団法人ライフ・エクステンション研究所附属永寿総合病院 池澤 裕子 他
- P10-5 モートン病に対する足底板の治療成績 —足部形態が及ぼす影響—
医療法人春秋会 城山病院 佐野 庸平 他

一般演題11 [外反母趾・強剛母趾 3]

11:50～12:30

座長：常德 剛(葛城病院 整形外科)

- P11-1 外反母趾患者の足趾接地状態と足部形態との関係
しょうの整形外科クリニック 山口 慎介 他
- P11-2 地域在住高齢者における外反母趾角と足趾筋力・歩行速度の関連
鈴鹿回生病院 リハビリテーション課 加藤 俊宏 他
- P11-3 外反母趾術後の足部の変化による靴への影響
聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座 軽辺 朋子 他
- P11-4 強剛母趾 Grade II の検討 —保存療法有効例と無効例の比較—
うさみ整形外科 高鳥 尚子 他
- P11-5 外反母趾用 low profile locking plate を用いた関節リウマチの足趾形成術
九州医療センター 整形外科・リウマチ科 福士 純一 他

第2日目 9月4日(土) 第2会場

一般演題7 [装具治療 2]

9:00～9:50

座長：福士 純一(九州医療センター 整形外科・リウマチ科)

- P07-1** ヒールカップ型装具を使用して歩行が可能になった Werner 症候群の1例
医療法人社団昭成会 田崎病院 リハビリテーション科 佐藤 和樹 他
- P07-2** 整形外科靴により治療した外反扁平足 Stage2の1例
有限会社千葉商店 千葉 和彦 他
- P07-3** 難治性下腿骨骨折後の脚長差に対する靴による補正
NPO オーンティックスソサエティー 内田 俊彦 他
- P07-4** 外側楔状足底挿板による保存療法は内側型変形性膝関節症の除痛に有効である
聖マリアンナ医科大学 整形外科講座 工藤 貴章 他
- P07-5** 走行時に発症したリスフラン靭帯損傷に対して足底挿板療法が有効であった2例
— 立脚後半相の軸圧負荷に着目して —
さとう整形外科 リハビリテーション科 小瀬 勝也 他
- P07-6** 糖尿病により母趾切断に至ったケースの医療チームケア
医療法人横浜未来ヘルスケアシステム 戸塚共立リハビリテーション病院 石川 早紀 他

一般演題8 [基礎研究 2]

10:00～10:40

座長：谷口 晃(奈良県立医科大学 整形外科)

- P08-1** ギブスシーネの形状による強度の比較
岡田整形外科 岡田 洋和 他
- P08-2** 内反小趾に付帯する小趾回外角度の増加と開張率との関係性
新潟医療福祉大学大学院 中林 功一 他
- P08-3** 足関節の可動域と股関節可動域との関係性の検討
しょうの整形外科クリニック 庄野 和 他
- P08-4** 足部トラブルを有する佐久市民モニターへの多職種連携による介入効果
学校法人佐久学園 佐久大学 看護学部 坂江千寿子 他
- P08-5** ロコモ対策としての他動的下肢筋力刺激装置の使用経験
塩之谷整形外科 瓜生美貴代 他

シンポジウム5 [変わらないフットケア 変わるフットケア]

10:50～12:20

座長：庄野 和(しょうの整形外科クリニック)
岡田 洋和(岡田整形外科)

SY5-1 糖尿病のフットケアの30年

南和広域医療企業団五條病院 整形外科 門野 邦彦 他

SY5-2 足部・足関節疾患に対する周術期のフットケア

大阪医科薬科大学 整形外科 嶋 洋明 他

SY5-3 外来でのフットケア～超音波検査でつながる、コメディカルとのチーム医療

熱田整形外科 熱田 智範

SY5-4 外反母趾のフットケア 変わらないフットケア 変わるフットケア

永寿総合病院 整形外科 畔柳 裕二 他

SY5-5 こどものフットケア

獨協医科大学埼玉医療センター 整形外科 垣花 昌隆 他

特別講演2

12:30～13:30

座長：平野 貴章(聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座)

[新型コロナウイルスと闘った一年間]

聖マリアンナ医科大学 救急医学 森澤健一郎

閉会式

13:30～13:40

A series of horizontal lines for writing, including a solid top line and multiple dotted lines below it.

理事長講演

靴医学会の今後の展望 (なすべきこと)

宇佐見 則夫

うさみ整形外科

現代は生活様式の多様性とともに関わせたファッション(靴を含めた)が必要とされている。特に靴は健康志向からファッション性を求めるまで様々な形態・構造からなり、靴は健康にも病的な状態へも導いていく。本学会に求められているものは足の病的な状態を改善させ社会生活に復帰させること、足元の健康を維持・増進させること、さらには“きれいに見せたい”という美的要求をかなえることである。しかしながら、これらの問題を解決する手立てをまだ持っていない。本学会は医師、看護師、義肢装具士、靴製作販売メーカー、研究機関などから構成されている。これらの人々が一連のつながりをもって研究・開発、実用化さらにその後のフィードバックをすべきであるが残念ながらこれらは社会的経済的理由から限られた範囲で行われているのみである。ぜひ本学会の特徴を生かしてこれらの広い範囲での一連の流れを進めていきたいものである。また、本学会員で靴と歩行・足・スポーツなどに関係する他の学会にも所属している方々は靴医学会と協力して意見の交換を行えるように動いていただけることをお願いしたいと思います。

A series of horizontal lines, including a solid top line and numerous dotted lines below, providing a template for writing or drawing.

一般演題

第1日目

9月3日(金)

P01-1

乳幼児期の靴の着脱教育法の体系化
—新機構の留め具を用いた年齢別手技の
学習効果—

早稲田大学 人間科学学術院

○吉村 真由美(よしむら まゆみ)

【目的】小学校入学までの靴の使い方の自立は、小中高の教育の質の向上に向けた重要課題である。濱田ら¹⁾は、小学校での足育学習の実施に先鞭をつけた。しかし、就学前に身についた習慣の影響が懸念され、より早期から教育を開始する必要がある。本報では、乳幼児期の靴の着脱教育法の体系化を念頭に、保育者による年齢別指導法が幼児の履き方脱ぎ方に与える効果の検証を行った。

【方法】対象は、都内の公立保育所に通う幼児(3歳児13名、4歳児17名、5歳児18名)48名である。取り組みは2020年度から開始した。対象児と保育者は同じ形状(新機構ダブルクロスベルト型)の上履きを着用し、幼児が日常的に保育者の着脱動作の見取り学習ができる環境を整備した。履き方技能(靴を手で操作する動作、踵部を靴の後端に位置付ける動作、向かい合った2本のベルクロを締める方向へ引っ張る動作、受け側のベルクロに留め付ける動作)に着目し、動作の成否と関連を分析した。

【結果】履き方動作では、①低年齢ほど動作の順序認識が困難な児が多く、②どの年齢でも2本のベルクロを両手で引く動作ができていた。つまり、新しい機構のベルクロが「引っ張る→足に巻き付ける→留め付ける」の合理的動作を助けていた。脱ぎ方動作では、ベルクロを外さないと脱げない構造のため、必ず外してから脱ぐ動作がほぼ全員に見られた。

【考察】人間工学的に理解と動作が容易に行える形状の上履きを用いた学習は、従来の形状の上履きに比べて直感的に操作ができ、正しい動作を実現させた。また、指導者と子どもが同じ靴を履いて過ごし、常に見取り学習ができる環境は高い効果が期待でき、指導者と幼児が同じ上履きを教具と位置付けて導入し、学習を実施する必要性が示唆された。

【文献】1) 濱田 哲ほか. 足育(あしいく), 足と靴の健康教育 —学校現場における取組—. 靴の医学 2018: 32(2): 54-57.

P01-2

ドイツ子供靴規格協会 WMS と
小児足を囲む保険制度、
そしてそこから見える日本の小児足靴課題

1) 株式会社フィートバック、2) jagss 日独小児靴学研究会

○Behle 操(べーれ みさお)¹⁾²⁾

ドイツでは1956年から59年までエレファンテンと言う子供靴専門製造メーカーの創業者エレファンテン氏と小児外科医マイヤー氏が調査チームを組み、ドイツ全土で26,000人強の子供足を測定した。そこから子供の足のプロポーションや歩行を妨げない屈曲位置を研究し尽くし、世界唯一の子供靴規格協会が1966年連邦政府直轄のドイツ靴協会・商工会議所支援の下、ドイツ子供靴規格協会 WMS が設立された。

その規格とは、Weit 幅広, Mittel 標準幅, Schmal 細幅 と一つのサイズに3幅を持たせる木型で、WMS 協会がその木型を各メーカーにライセンス契約し提供する。製造が本格的に各メーカーから始まったのは74年からである。

小児の頃から足の成長と靴の影響をしっかりと捉え、歩行寿命に影響がないように快適に過ごせる足環境にして、予防としていくというのがドイツの足に関する予防医学の基本的な考え方である。

その考え方に伴いこのような協会が設立され、保険制度の中でも小児の足は守られてきた。日本でいう母子手帳(ドイツは黄色手帳という)特徴的な項目がある。

その歴史と考察、保険制度、また最新情報を交えながら日本が今後、将来を担う世代にしっかりと歩いて快適に活動してもらうためにも、乗り越えていかなくてはならない課題も検証してみる。

靴の医学 第35巻1号 2021年9月発行©

定価 2,000円(税込み)

編集：第35回日本靴医学会学術集会事務局
聖マリアンナ医科大学 整形外科学講座

発行者：日本靴医学会
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1
パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内
FAX：03-6267-4555

印刷：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>
